

令和七年度香川県県民ホール舞台芸術鑑賞事業

公益財団法人松平公益会百周年記念

第一回



讃岐葵会

大阪能楽養成会研究発表会

令和7年 8月4日(月)

13時開演(12時30分開場)

15時45分終演(予定)

レザムホール・小ホール
(香川県県民ホール)

入場無料

チケットはありません。
直接、会場にお越しください。

(定員約800席に達した場合、入場をお断りすることがありますので余裕を持ってご来場ください。)

能

卷絹

狂言

酢薑



本公演は、公益財団法人松平公益会の百周年記念事業として、能楽界の次代を担う若き能楽師の育成を助ける一方、第一線で活躍する指導者らも招き、世界最古の舞台芸術である能楽鑑賞の機会を提供するものです。来年は京都能楽養成会を招聘し、大阪・京都隔年にて実施します。研修生たちに温かいご支援をお願いします。

主催：公益財団法人松平公益会、香川県 協力：香川県能楽会 事業実施者：あなぶき文化振興コンソーシアム代表企業 穴吹エンタープライズ株式会社

第一回 讃岐葵会 (大阪能楽養成会研究発表会)

能 巻絹

天皇の命を受け、都から熊野本宮(和歌山県)へ絹の反物を運んでいた男(ツレ)が途中、梅の香に心ひかれ、和歌を詠み天神様に手向けます。寄り道で遅れた男は、臣下(ワキ)に叱られ、縛られます。そこへ天神様が乗り移った巫女(シテ)が現れ、和歌の手向けを喜び、男の縄を解きます。巫女は念ずれば神にも届く和歌の素晴らしさを語り、臣下のすすめで神楽を舞ううちに、より神がかりとなりますが、まもなく正氣に戻り「巻絹」の能は終わります。

後半の狂乱とやがて正氣に戻るシテの舞、謡と囃子の盛り上がりをお楽しみに。

狂言 酢薑

酢売り(はじかみ)と薑(はじかみ)売りが出会ったことから始まるお話で、互いの商売の由緒や系図をめぐっての言い争い。「ことは遊び」が聴きどころ。酢売りの「す」、薑売りの生姜の辛さを愛でる「から」の応酬に聴き耳を立て、洒落合戦をお楽しみください。さてその結末は…。

養成会とは

能楽の後継者を養成する組織。1954(昭和29)年に松平頼寿伯爵邸内の染井能楽堂を教場として発足しました。今日、第一線に立つ能楽師の多くはこの養成会を卒業し活躍中です。研修生たちは、能楽師として生きていく覚悟をし、研鑽に励んでいます。

◆ 番組 ◆ (※は研修生)

能「観世流」 巻絹

シテ 巫女 *梅若雄一郎
ツレ 都の男 *稲本 幹太
ワキ 臣下 喜多 雅人
アイ 臣下の下人 上吉川 徹

笛 貞光 智宣
小鼓 *久田 杏海
大鼓 *山本 寿弥
太鼓 *横山 奈帆子

後見 上田 貴弘
赤松 禎友

山田 薫
上野 朝彦
笠田 祐樹
*上田 嶺貴
*田中 誠士

15分休憩

仕舞「金春流」 国栖

錦木

*金春 飛翔
*金春 嘉織
金春 穂高

仕舞「観世流」 鶴亀

羽衣

春日龍神

地謡

*長山 芽生
*上田 嶺貴
*田中 誠士
笠田 祐樹
上野 朝彦
山田 薫

狂言「大蔵流」 酢薑

後見

酢売り 小西 玲央
薑売り 善竹 隆司
上吉川 徹

屋島

講師舞囃子「観世流」

人間国宝 大槻 文蔵
赤井 啓三
清水 皓祐
山本 哲也
上野 朝義
上田 貴弘
山本 博通
*上田 嶺貴
*田中 誠士

令和7年

8月4日(月) 13時開演(12時30分開場) 15時45分終演(予定)

入場無料

チケットはありません。直接、会場にお越しください。
(定員約800席に達した場合、入場をお断りすることがありますので余裕を持ってご来場ください。)

お問い合わせ

〒760-0030 香川県高松市玉藻町9番10号
県民ホールサービスセンター 087-823-5023 (10:00~18:00)

■JR高松駅から徒歩8分

各方面からJR利用、終点高松駅下車で徒歩8分/各方面から高速バス利用、終点高松駅下車徒歩8分

■駐車場のご利用

ホール専用の駐車場はありません。ホール北側の「玉藻町駐車場」をはじめ、ホール周辺の有料駐車場のご利用をお願いします。各駐車場は台数が限られていますので、公共交通機関のご利用をおすすめします。

※ホール周辺道路への駐車はご遠慮ください。車椅子でお越しの方や移動に配慮が必要な方は思いやり駐車場をご利用ください。(事前予約は出来ませんのでご了承ください)

レクザムホール・小ホール
(香川県県民ホール)

